

私のすすめるこの1冊

神崎 友子 (附属桃山中学校 教諭)

『ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと』

奥野 克巳(著)

本書は私たちの「当たり前」を覆すような人類学の面白さにあふれたエッセイです。

筆者はマレーシアのボルネオ島に暮らす狩猟採集民プナンのもとを継続的に訪れ、交流してきました。本書には筆者が見聞きしたプナンの生活とその考察が綴られています。

例えばプナンはものを借りても返さず、ありがとうも言いません。そもそも「貸し借り」の概念がなく、「ありがとう」という言葉が存在しません。また筆者がバイクを貸すと、タイヤをパンクさせても何も言わずに返してくる始末。プナンは謝罪もなければ、反省もしません。筆者は当初イラッしますが、次第に自分の価値観が「必ずしも絶対ではないかもしれない」と思ようになります。

まず「貸し借り」ですが、プナンでは「欲を捨てよ」といわれ、独り占めせず、周囲の人に分け与えることを大切にします。例えば獲物や得たお金は、仕事の量や地位に関係なく均分されます。

また所有されるのは、ものだけではありません。「知識や能力」もプナン社会では個人のものではなく、集団の中で共有され生かされます。一方日本では、「知識や能力」は個人の所有となり、進学や仕事で個人のアドバンテージとなります。

筆者はこの違いについて「プナンは自然に頼って生き残るため」としていますが、「プナンには格差もなければ競争もないため、ストレスなどの心の問題もない」と述べています。

次に「反省しない」ことですが、日本の学校では終礼で反省会をしたり、最近各教科で「ふり返り」という反省のようなことをしています。それは「よりよい学校生活を送るため」「今後の

学習を改善するため」であり、私たちは「よりよい未来に向けての反省」を常に求められているように感じます。一方プナンには「〇〇を成し遂げるため」「世の中をよくするため」という考えがありません。

私たちの多くはお金や生きがいのために朝から仕事に出かけますが、プナンは朝起きて森に食べ物を探しに行き、手に入れたら調理して食べ、後はぶらぶら過ごします。「〇〇のために生きる」のではなく「生きるために食べる」。このようにプナンは「よりよい未来のために生きる」のではなく「今を生きる」ことに基づいて生活しているため、反省する必要がないのです。

もっとも筆者は私たちの生き方が「悪」で、プナンの生き方が「善」であるということではない、としています。プナンの生き方を知ることで、私たちの「当たり前」とする考え方や価値観が照らし出されます。本書を読むことで、「当たり前」としてきたことから自由になり、「生きることや幸せ、豊かさ」について問い直すことができるでしょう。

最後に、附属桃山中学校には帰国外国人生徒学級があります。彼らは日本の「当たり前」について「なぜ日本では〇〇なのですか。私がいた国では…」と、それぞれのルーツである国との違いを一般学級の生徒や教員に教えてください。本書のテーマである「異なる価値観に出会う」と共通した学校文化が本校にはあります。

本書とともに、本校の帰国外国人生徒教育にもご関心をもってくださいましたら幸いです。

☆☆ 学修相談カウンター ☆☆

京教の先輩が勉強や教育実習など、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ぜひ気軽にお立ち寄りください。

【時間】授業期間の平日 2~4限のうち該当の時間

【場所】北館 2階 ラーニングcommons
時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する、、、などの場合はメールでの相談も受け付けています。

詳しくは HP 等でご確認ください→



私は大学院で教科教育学について研究しています。模擬授業のやり方や指導案の作り方が分からないという人はいつでもご相談ください！学部では教育学を専攻していました。教育学や教育社会学を中心として、道徳教育や市民性教育で質問がある方も是非お越しください。また、趣味は手相占いです。大学生活に漠然とした不安があるといったお悩みでも力になれることがあると思います。お気軽にお越し下さい！

初任期教員養成コース（教育/社会）

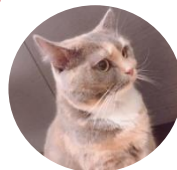
支援員からみなさんへ:Part.1
<掲載内容>アイコン、自己紹介、専修・コース名
(専門分野)※Part.2は来月号に掲載します！



☆☆図書館は、いつも
みなさんの「まなび」
を応援しています☆☆



私は、生徒の可能性を広げることができる教員を目指し、大学ではスポーツ科学、大学院では歴史教育におけるICT機器を活用した授業デザインの研究に励んでいます。また、中学校・社会科、高校・地理歴史科・公民科の免許を取得しています。そして、大学院卒業後は、公立中学校に勤務する予定なので、専門科目の日本史、教員採用試験や教育実習（中学・高校の社会科）の授業づくりに関してのお悩みがあればぜひ気軽にお声かけください！その他、スポーツ科学や統計学、卒業論文作成に関してなど、小さなお悩みでもぜひご相談ください。一緒に頑張りましょう！
教職教科学習探求（社会/統計）



私は、教職大学院の初任期養成コースに所属しています。ユニバーサルデザインの授業について関心あり、現在修士論文に向けて取り組んでいます。校種は中高で、教科は国語科です。大学院進学前は、他大学の文学部にて、近世文学や出版学について学んでいました。専門の文学について、大学院への進学、国語の授業の作り方の相談、また教育実習や大学院の実習を経験しているので教育実習についてもアドバイスができることがあるかと思います。ここに書いていないことでも相談可能ですので、お気軽にご相談ください。

教職初任期教員（文学）

学生目線で選ばれた本を
ぜひ手にとって、レポートに目を通
しながら読んでみてください！



学生によるブックレポート展示コーナー

テーマ:文系・理系シャッフル読書

必修科目「教育の理念と歴史」(神代健彦准教授担当分)との協働企画として、受講生が選んだ図書館の本と、内容やおすすめポイントをまとめたブックレポートをセットにして展示しています。

【場所】1階渡り廊下

【期間】6月29日(木)~8月8日(火)



リフレッシュラウンジ

小学校教科内容論 音楽「記譜」課題
作品展示会

課題「さんぽ」の楽譜を作製。優秀作・力作を展示しています。

【会期】7月19日(水)~8月8日(火)まで



京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

※今までの回も視聴できませんので、ぜひご覧ください！

第37回のお知らせ

YouTubeで公開されています。

【講師】浅沼 徹(体育学科 講師)

【テーマ】健康に良い行動を続けるコツは？
～健康行動科学への招待～



主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

★ 夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生：7月26日(水)～9月25日(月)

院生・教職員：7月12日(水)～9月11日(月)

【返却期限日】10月10日(火)

※卒業・修了予定者は9月8日(金)まで

🌸 日曜開館を実施します

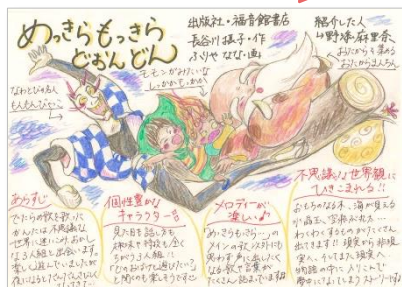
日曜日(8月6日)の9時から17時まで
開館します。試験勉強などにぜひ！



児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
『めっきらもっくらどおんどん』
作：長谷川 摂子
絵：ふりや なな
出版社：福音館書店



※児童書コーナー
にかわいいカード
が飾られています
ので、ぜひ見に来
てください。

📖 eBook 全文試し読み&リクエスト
キャンペーン

【実施期間】6月12日(月)～8月11日(金)

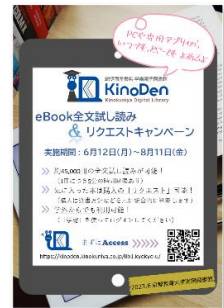
※2ヶ月

eBook(電子書籍)の全文試し読み&リクエスト
キャンペーンを実施しています！

1冊につき5分の制限はありますが、期間中約
45,000冊が全文読み放題です。

「もっと読みたい」、「なんども読みたい」本があれば
ぜひ購入をリクエストしてください。

パソコンや専用アプ
リからいつでも、ど
こでも、読めるよ！



まずはアクセス！



★ オープンキャンパス 2023

8月18日(金) 8:40～16:30

通常通り開館していますが、混み合うことが予想
されます。申し訳ありませんが、ご理解いただけ
ますようお願いいたします。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【8月の開館日時】

7日(月)、21日(月)、28日(月) 14:00～17:00
18日(金) 10:00～16:00 ※オープンキャンパス



8月18日(金)のオープンキャンパスは、開館しています。
ぜひ、見学にお越し下さい！

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **原田 信一** (産業技術科学科 教授)

中学校技術科のものづくり学習における生徒の原因帰属

— 中規模校での実践 —

原田 信一・畑 里佳子

京都教育大学紀要 2023, No.142, pp. 99-111
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9774>

「ものづくりは人づくり」と言われていますが、ものづくり白書(経産省)には「我が国の競争力を支えているものづくりの次代を担う人材を育成するためには、ものづくりに関する教育を充実させることが重要である」とあります。これまでものづくりに関わる立場に従事し、その経験から“人生すべてものづくりに通じる”と考えています。このことは、幼い子どもが一生懸命考えてどんぐりに穴をあけてヒゴを軸にしてコマをつくって回すことから、最先端テクノロジーで IT 技術の活用やロボットによる自動化まで、どの段階でも工夫したり考えたりして、理想とする形や動きのある正確なものづくりを目指していることに合致しています。「ものづくり」という言葉は、のこぎりで木材を切るような身近な技能をさす場合もあれば、構造物のような大きな建物やシステム及びソフトなど存在が感知できる対象をさす場合もあります。本稿で取り上げた木材加工の学習では、木材の繊維方向に沿って割れやすい性質があり、作業方法を間違えると大きな失敗につながるため、学習意欲を低下させる可能性も含まれています。一方、失敗体験は記憶に残りやすく、知識の定着と関連することが明らかになっています。

そこで本研究では、木材加工実習における生徒の原因帰属から意欲向上に繋げるための指導方法の検討を中規模校で実践しました。その結果、生徒の思考過程を重視することはもちろんですが、「原因を考えさせる場面」を設ける必要があるということが分かりました。今後は指導方法の改善に関する授業実践について検証を行っていきたいと思っています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 142 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8/2-8/8 前期末試験
8/9-9/30 夏季休業
8/12-8/15 夏季一斉休業

2023年9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9/6 館内整理日

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.275 (2023年8月号)
発行日:2023年8月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION